

# 有害プランクトン情報 (平成 30 年度 - No. 5)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	8 月 第 1 回	内湾 (8 地点)	8/6	内房 (7 地点)	8/6
		8 月 第 2 回	内湾 (8 地点)	8/30	内房 (7 地点)	8/29
	貝類漁場内	千葉北部 8/22	木更津北部 8/29	木更津南部 8/20	富津 8/6, 20	

## 【有害プランクトンの出現状況】

- 有害プランクトンの最高密度はシャットネラ属が 8/6 にアクア北及び盤洲北で 0.55 細胞/mL、ヘテロシグマ属が 8/6 に富津及び浦賀水道で 0.05 細胞/mL、カレニア属が 8/6 に船橋及び 8/29 に富津南で 0.15 細胞/mL で、いずれも注意基準未満でした。シュードシャットネラ属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上、酸素飽和度 150%以上) は沖合第 2 回に内湾で確認され、優占種はスケルトネマ属でした。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL、ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL、カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

## 【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高密度はディノフィシス アキュミナータが 8/6 に盤洲南で 2.35 細胞/mL でした。なお同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス ロツンダータが 8/6 にアクア北で 0.25 細胞/mL、ディノフィシス カウダータが 8/6 に盤洲北及びアクア南で 0.15 細胞/mL でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

8/6	内湾	珪藻	キートセロス属 (図 1)
	内房	珪藻	キートセロス属、シュードニッチア属 (図 2)
			スケルトネマ属
8/30	内湾	珪藻	スケルトネマ属
8/29	内房	珪藻	キートセロス属、シュードニッチア属

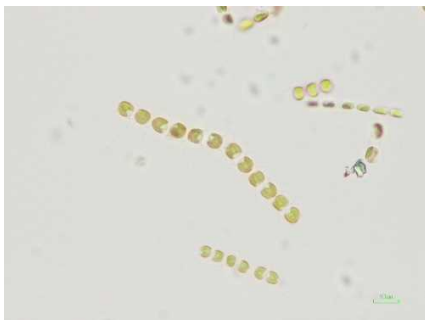
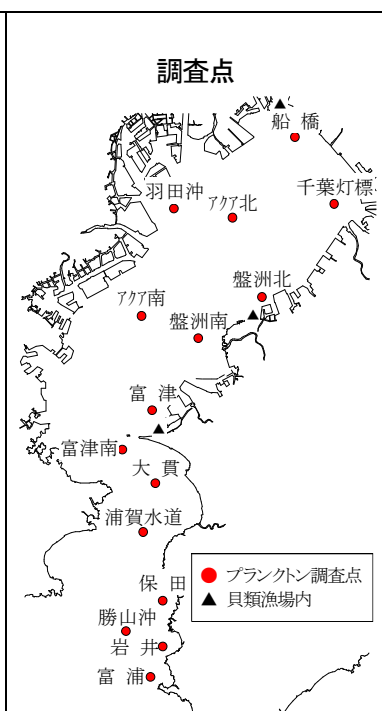


図 1 キートセロス属  
(8/6 羽田沖)



図 2 シュードニッチア属  
(8/6 勝山沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp